

V44c

Crab パルサーのジャイアントパルスの検出と時刻比較について

岳藤一宏、関戸 衛（情報通信研究機構）、寺澤敏夫、（東京大学）、竹内央（宇宙航空研究開発機構）

Crab パルサーからジャイアントパルス（GRP）と呼ばれるきわめて強度が強く、なおかつ短時間のパルスが放射される現象がある。この GRP を用いて、複数のアンテナ間の時刻比較に応用できないか検討している。そこで昨年度から本格的にパルサー観測を開始した。まず鹿島 34 m アンテナの L バンドで、Crab パルサーのジャイアントパルスの検出に成功した。また今年度、鹿島 34 m と宇宙航空研究開発機構の臼田 64 m アンテナをもちいて、Crab パルサーを S バンドで同時観測を行った。S バンドは帯域が広いために、ADS3000+により、周波数切り出しを行っている。また鹿島 34 m の 1.4GHz、ロシアの Pushchino22m アンテナの 1.6GHz との間で多波長観測を行った。本学会ではこれらの進捗状況の報告を行いたい。